

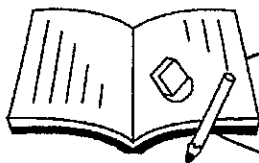
# 特別支援だより No. 2

令和2年4月12日（月） 特別支援教育コーディネーター 松田敦子

## 特別支援教育 ってなに？



従来の特殊教育（盲、ろう、養護学校や特殊学級）対象の子どもだけでなく、通常の学級に学習面や行動面等の学校生活において「学びにくさ」や「つまずき」を抱えている子どもたちに適切な支援を行う教育です。



通常の学級に **約6.5%** 程度  
つまり **1学級に2～3名** 特別に支援の必要な子がいる。  
《H24年度 文部科学省》

## 発達障がい ってなに？



発達障がいは、脳機能の発達に関係する生まれつきの障がいです。発達障がいのある人はコミュニケーションや対人関係をつくるのが苦手です。また、その行動や態度は「自分勝手」とか「変わった人」「困った人」と誤解され、敬遠されることも少なくありません。それが親のしつけや教育の問題ではなく、脳機能の障がいによるものだとして理解すれば、周囲の人の接し方も変わってくるのではないのでしょうか。

## 発達障がいの主なもの



注意欠陥多動性障がい  
**AD/HD**

学習障がい  
**LD**

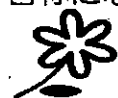
広汎性発達障がい（自閉症スペクトラム）

高機能自閉症

アスペルガー症候群

「広汎性発達障がい」を、医療機関では「自閉症スペクトラム」という名称になりました。

一人一人の特徴に応じて配慮することが大切です。



# 発達障がい に気づくポイント



☆ 早く気づき、適切な支援を受けることが重要です。

## 【人との関わり方】

- 一人遊びが多い
- 一方的でやりとりがしにくい
- おとなしすぎる、受動的
- 大人や年上の子、年下の子とはよく遊ぶが同級生とは遊べない



## 【コミュニケーション】

- 話は上手で難しいことを知っているが一方的に話すことが多い
- おしゃべりだが、指導者の指示が伝わりにくい
- 離席が多い、話を聞いていない

## 【イマジネーション・想像性】

- 相手にとって失礼なことや相手が傷つくことを言うてしまう
- 友達がふざけてやっていることを、いじめられたととらえ違えてしまう
- 集団で何かしている時にボーッとしたり、ふらふら歩いたりする
- 急な予定変更時に、不安や混乱した様子が見られる

## 【感覚】

- 音に敏感で耳をふさぐ
- 靴下をいつも脱いでしまう
- 同じ洋服でないとダメ
- 手をつなぎたがらない
- 極端な偏食
- 揺れているところを極端に怖がる  
すき間など狭い空間を好む



## 【運動】

- 身体がクニャクニャし、床に寝転がるが多い
- 不器用、絵や文字を書く時に筆圧が弱い
- 食べこぼしが多い
- 運動の調整が苦手、声が大きすぎる



## 【注意・集中】

- 一つの事に没頭すると、話しかけても聞こえていない
- 落ち着きがない、集中力がない、ぼんやりとしていることが多い
- 忘れ物が多い、支度や片づけができない

## 【学習】

- ☆学習面のどこかにアンバランス差が目立つ
- 話が流暢で頭の回転が速いが、作業が極端に遅い
- 難しい漢字は読めるが、簡単なひらがなが書けない
- 図鑑や本を好んで読むが作文を書くことが苦手
- 黒板の字をノートに写すことが難しい

## 【情緒・感情】

- 極端な恐がり
- 些細なことで注意されると、カッとなりやすい
- 思い通りにならないとパニックになる
- 感情が高まると、なかなか興奮がおさまらない

